

八尾地域のまちづくりと 公共施設の状況

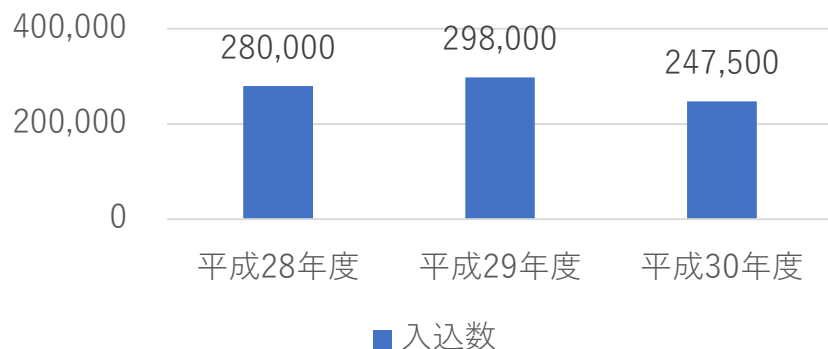
① 地域の現状

- 八尾地域は平成17年に市町村合併で富山市となった面積約236.8km²の地域で、9つの地区がある。
- 八尾地域には古い町並みが残っていたり、とやまの文化財百選に選定されたおわら風の盆など文化・観光資源が豊かであり、また中心部へのアクセスがよい地域である。

越中八尾 おわら風の盆

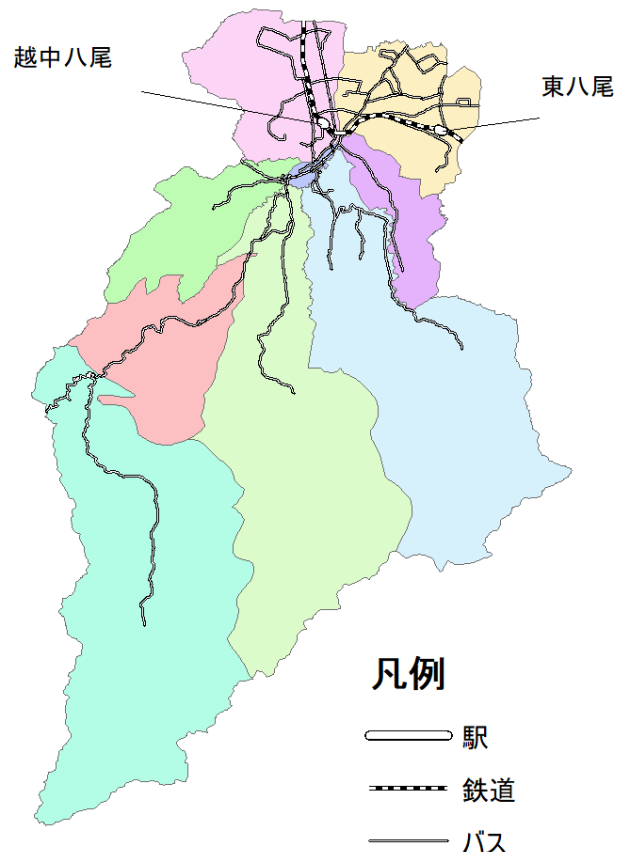
越中八尾で300年余り踊りつがれてきた「越中おわら風の盆」。町流しは各町内（11ヶ所）で行われ、八尾小学校グラウンドの演舞場では、保存会各支部による演舞が行われる。

越中八尾 おわら風の盆 入込数推移（人）



- JR高山線の越中八尾駅と東八尾駅が立地しており、越中八尾駅周辺は商店街が形成されている。
- 富山地方鉄道と富山市コミュニティバスが運行しており、バス路線は充実している。

系統	運行本数 (平日)
八尾環状線 (左・右廻り)	12本
大長谷線	12本
野積線	10本
八尾高校線 (八尾駅)	4本
八尾高校線 (杉原公民館)	2本
八尾中核線 (左・右廻り)	10本
室牧線	12本
桐谷・茗ヶ原線	8本
黒瀬谷線	8本
保内線 (左・右廻り)	3本
杉原線 (左・右廻り)	2本
堤防経由八尾	3本
熊野経由八尾	17本
富山空港・成子滅鬼経由八尾	2本
八尾高校	1本
国際大付属高校・八尾ルート	3本

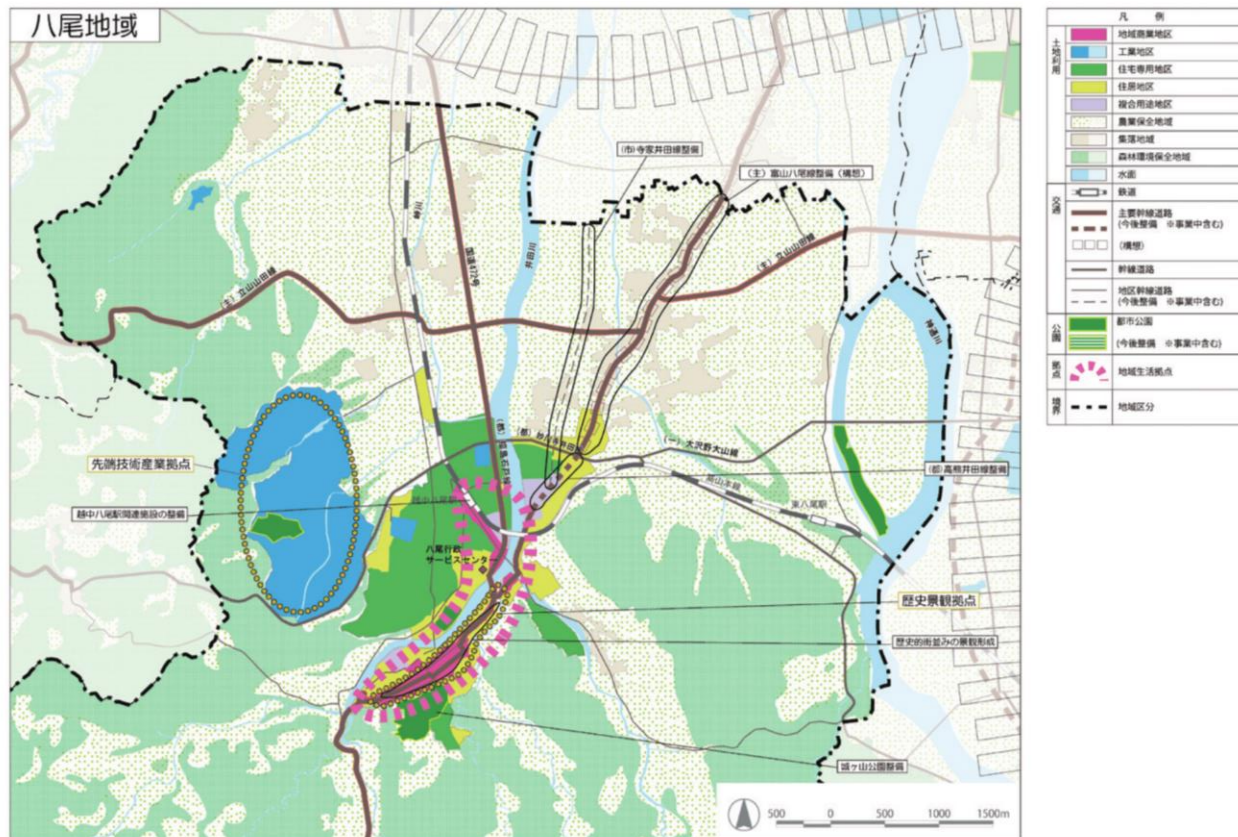


駅	乗降客数	運行本数 (平日)	運行本数 (ピーク)
越中八尾駅	947人/日	15本	2本/時
東八尾駅	48人/日	11本	1本/時

1 地域の現状 地域の拠点（都市マスタープラン）

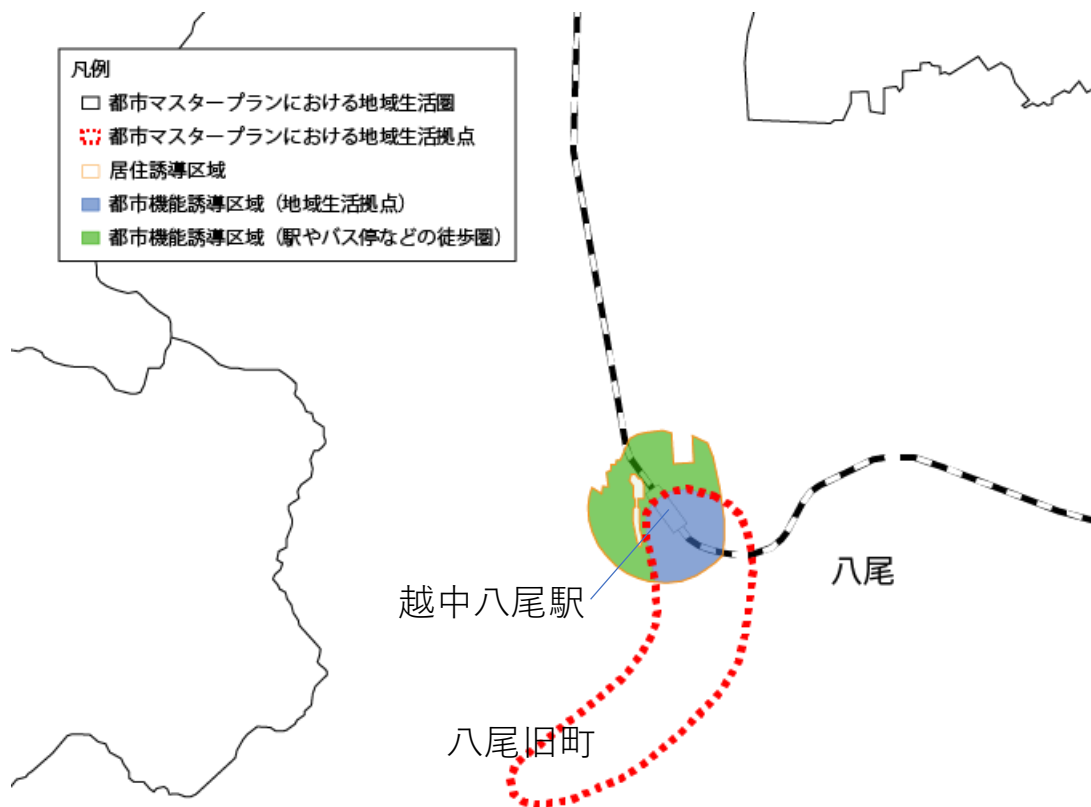
八尾行政サービスセンター及び越中八尾駅周辺を地域生活拠点と位置付け。

- 富山市は、お団子と串の都市構造（鉄軌道をはじめとする公共交通を活性化させ、その沿線に居住、商業、業務、文化等の都市の諸機能を集積させることにより、公共交通を軸とした拠点集中型のコンパクトなまちづくり）を目指しており、お団子のうち市域全体の拠点を「都心」とし、地域生活圏ごとに「地域生活拠点」を設定している。
- 地域生活拠点には、日常生活に必要な商業等の諸機能の集積を図ることにしている。
- 八尾地域では、八尾行政サービスセンター及び越中八尾駅周辺などを地域生活拠点として位置づけている。



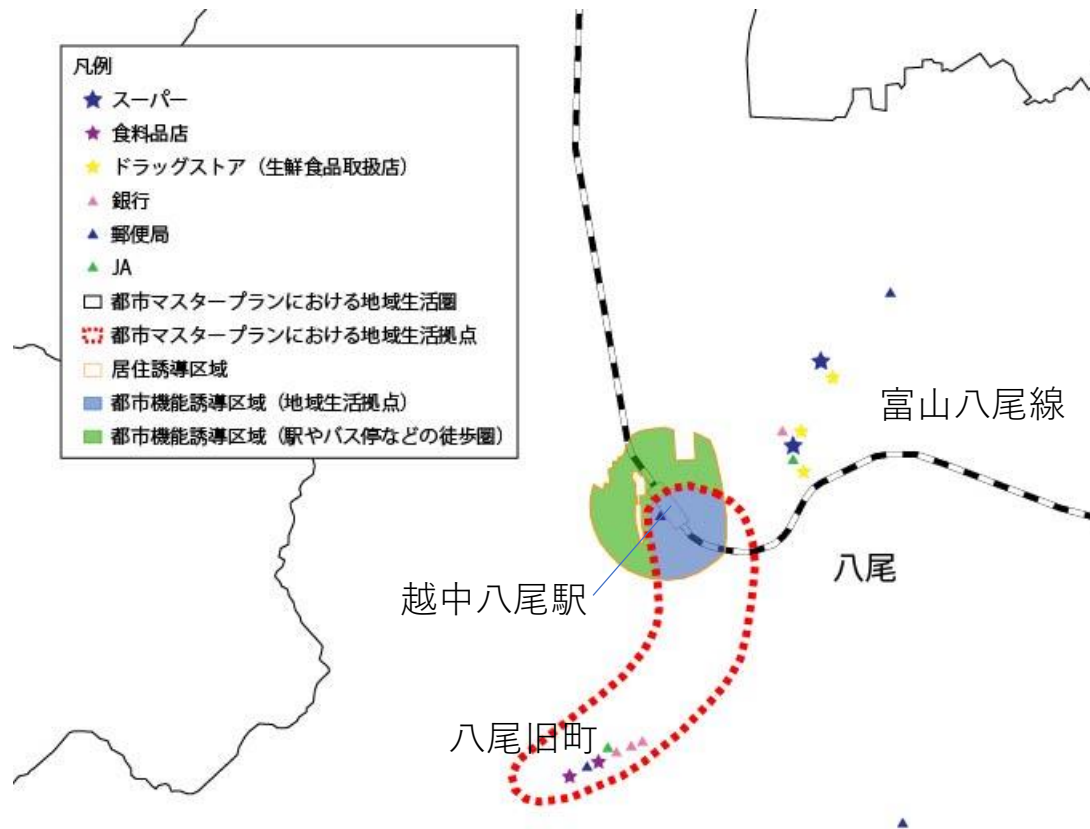
市の立地適正化計画では、越中八尾駅周辺のみ居住誘導区域と位置づけ。

- 立地適正化計画は、駅やバス停の徒歩圏に「居住を誘導するエリア（居住誘導区域）」や「都市機能を誘導するエリア（都市機能誘導区域）」を定めて、コンパクトなまちづくりを進める計画である。
- 八尾地域では、用途地域が設定された越中八尾駅から半径500mの範囲を居住誘導区域に指定している。



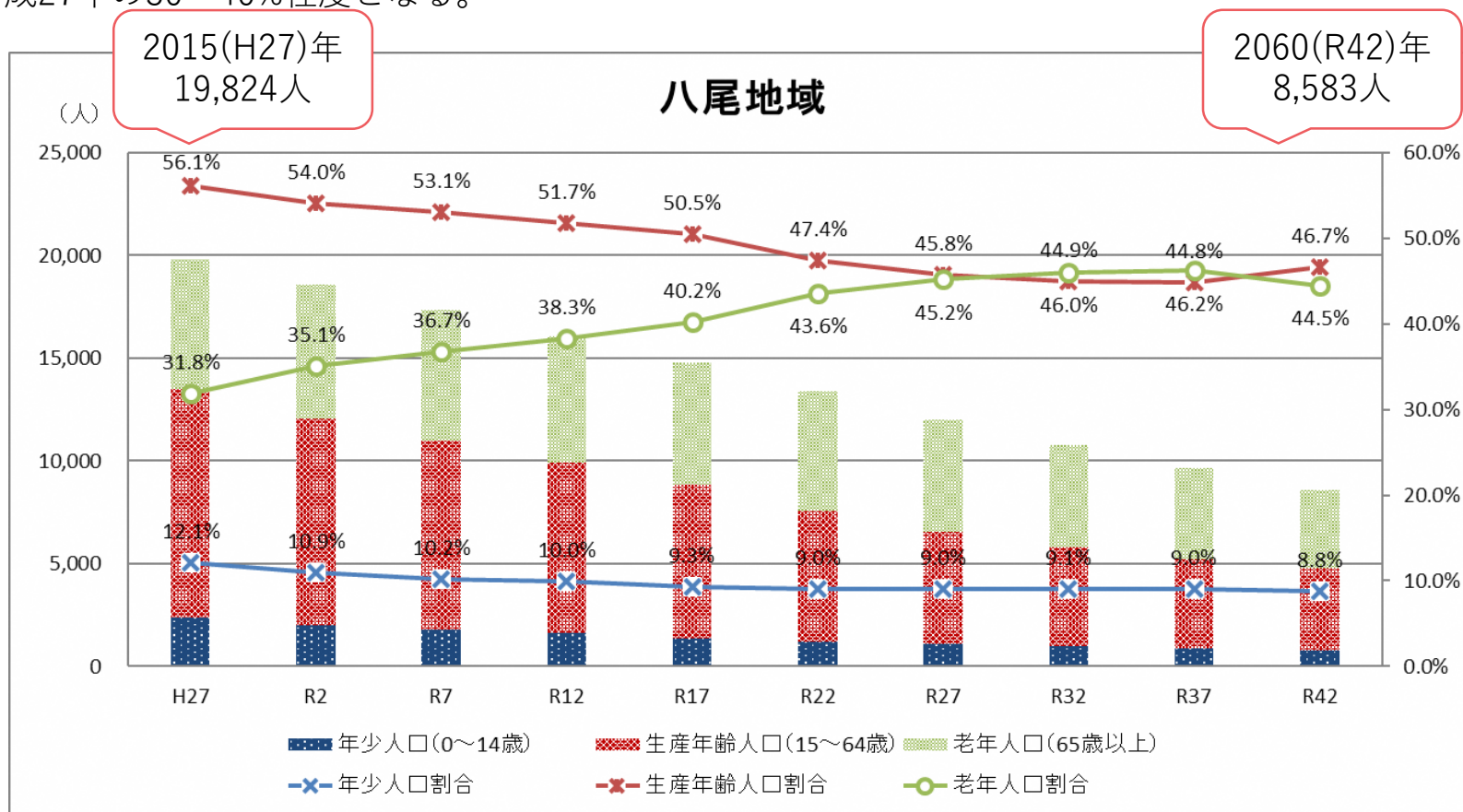
商業施設等は八尾旧街付近と富山八尾線の沿線に集中している。

- 日常生活に必要な機能である医療施設や商業施設の立地をみると、八尾旧町付近と県道である富山八尾線に沿って北上する地域に集中している。



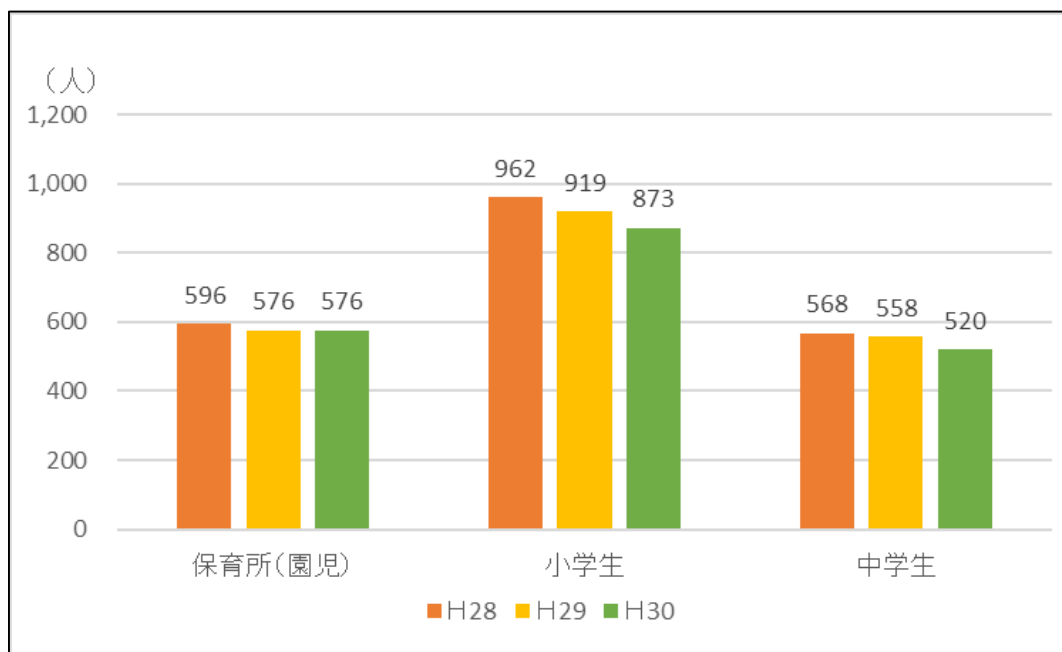
今後、人口は大きく減少し、2060年には現在の4割程度となる。

- 総人口は令和42年までに56.7%減少する。
- 高齢者人口、生産年齢人口、年少人口の全人口区分において大きく減少し、特に生産年齢人口と年少人口は平成27年の30~40%程度となる。



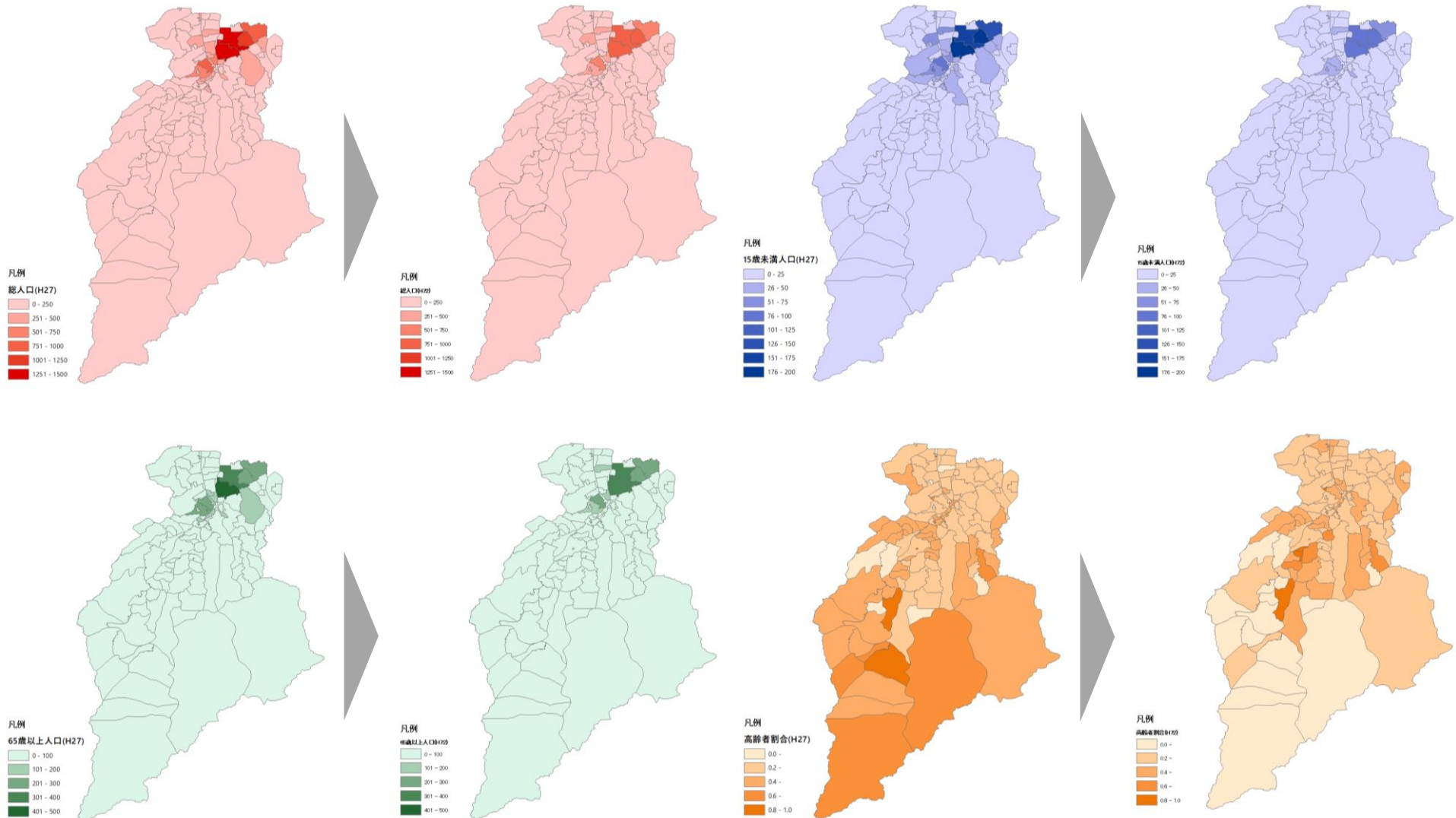
子どもの人口も減少が続く。

- 八尾地域の園児・児童・生徒数は減少傾向となっている。
- 将来推計人口を加味すると、今後さらに減少すると予想される。



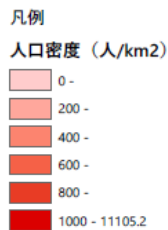
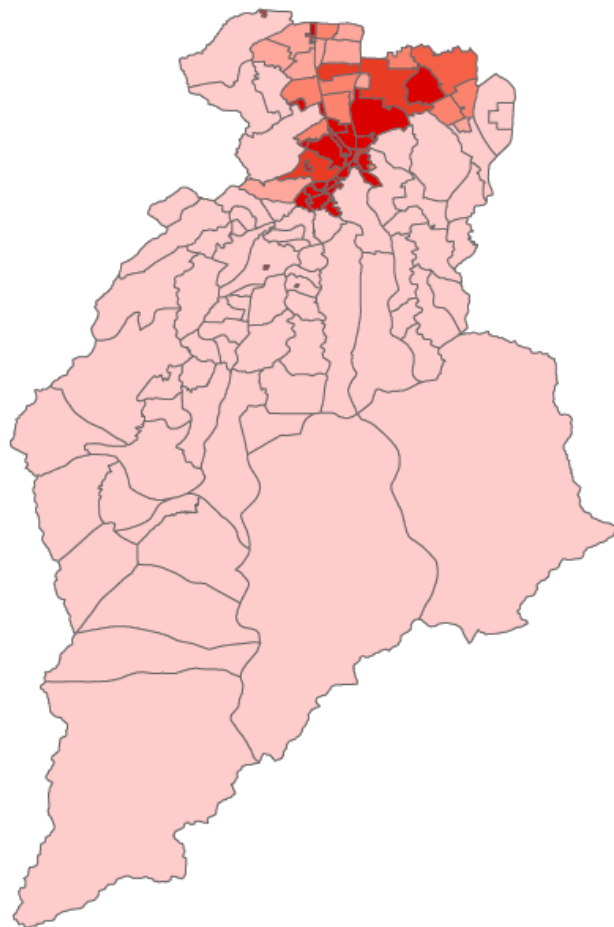
保育所	八尾保育所、福島保育所、黒瀬谷保育所 (私立) 杉原こども園、しんでん保育園、リンデ幼稚園
小学校	八尾小学校、杉原小学校、保内小学校、檜尾小学校
中学校	八尾中学校、杉原中学校

越中八尾駅周辺や富山県道7号富山八尾線沿いの地域に人口が集中。



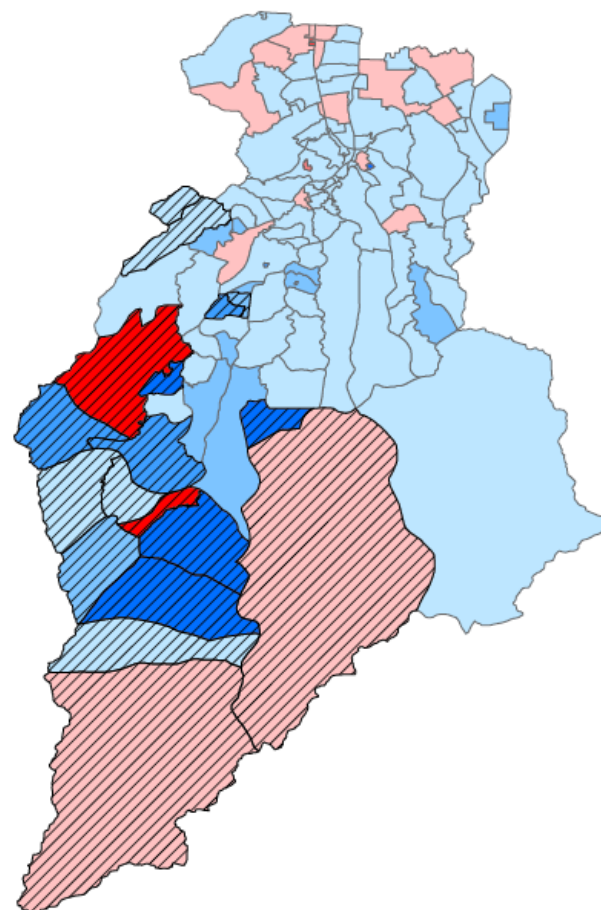
人口密度

- 人口密度が高い地域は富山県道7号富山八尾線沿いの地域で多くみられる。



人口増減

- 全体的に人口は減少傾向にある。



考えられる地域の課題

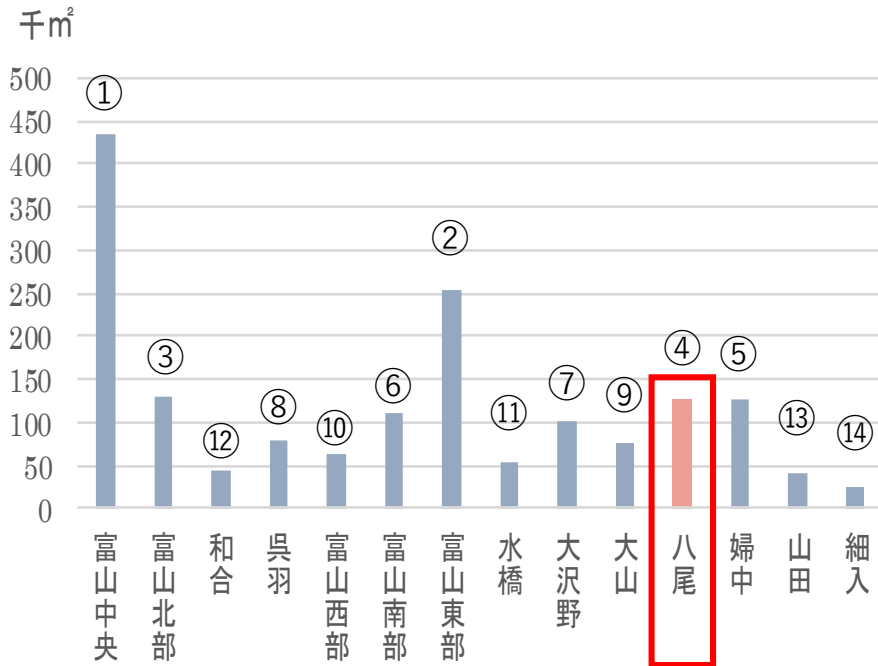
- 公共交通は、鉄道はJR高山線越中八尾駅、東八尾駅があり富山方面、飛騨高山方面にアクセスが可能であるものの運行本数が少ない。路線バスは、富山地方鉄道と富山市コミュニティバスにより地域内はくまなく運行されているが、一部運行本数が少ない路線もある。八尾旧町や富山八尾線に集積する商業施設は、越中八尾駅からはやや離れており、路線バス等の乗り継ぎが必要になる。
- スーパーや病院など生活に必要な機能を持つ施設は地域の北部に集積しており、南部の中山間部には少ない。また人口減少が加速する傾向は南部において特に顕著である。
- まちづくりの観点からは、地域生活拠点、都市機能誘導区域、人口の分布、商業施設等の立地にずれが生じているため、まちの顔となる拠点づくりが必要である。
- また、八尾旧町に残された歴史的街並み、おわら風の盆に代表される祭事等の文化継承、観光振興を図るとともに、都市機能のコンパクトを図っていく必要がある。

② 公共施設の状況

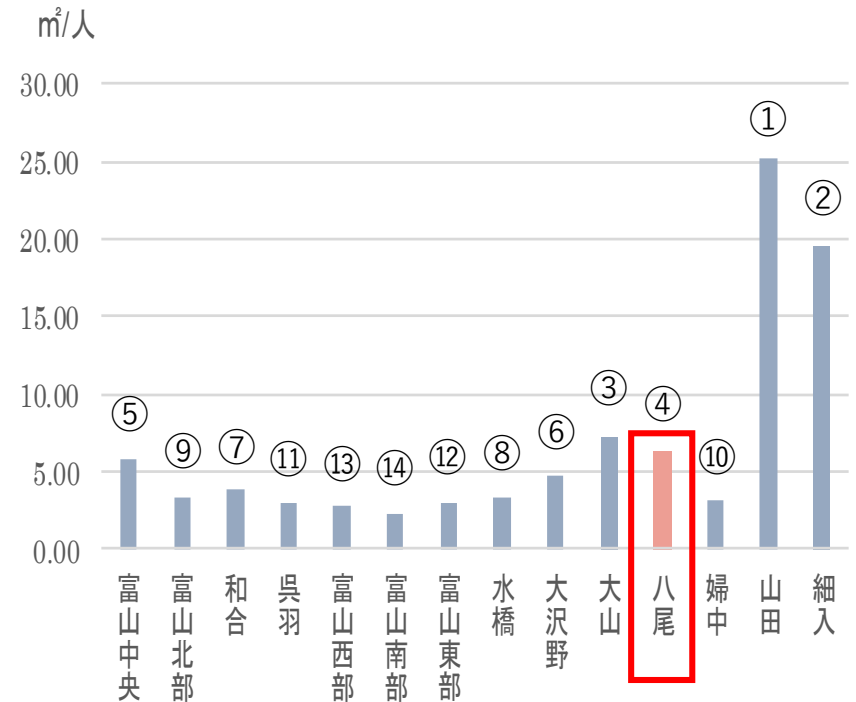
公共施設の保有量（総量）

- 公共施設の保有量をみると、八尾地域は富山市内の14地域のうち4番目に多くなっている。
- 人口1人あたりの延床面積では、多いほうから4番目である。

地域別公共施設延床面積



(参考) 地域別公共施設1人あたり延床面積



公共施設の状況

公共施設の配置

- 八尾地域の公共施設は、主要幹線道路である国道472号の周囲に多く整備されている。
- 特に、越中八尾駅南部には、行政サービスセンター、スポーツ施設、集会施設、文化施設、幼保・こども園、幼児・児童施設などの機能が集積している。
- 公共交通軸から離れているが、公共施設が複数立地している地域としては、白木峰山麓周辺、八尾ゆめの森周辺、黒瀬谷交流センター周辺が挙げられる。

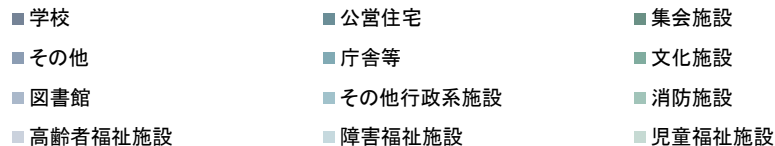
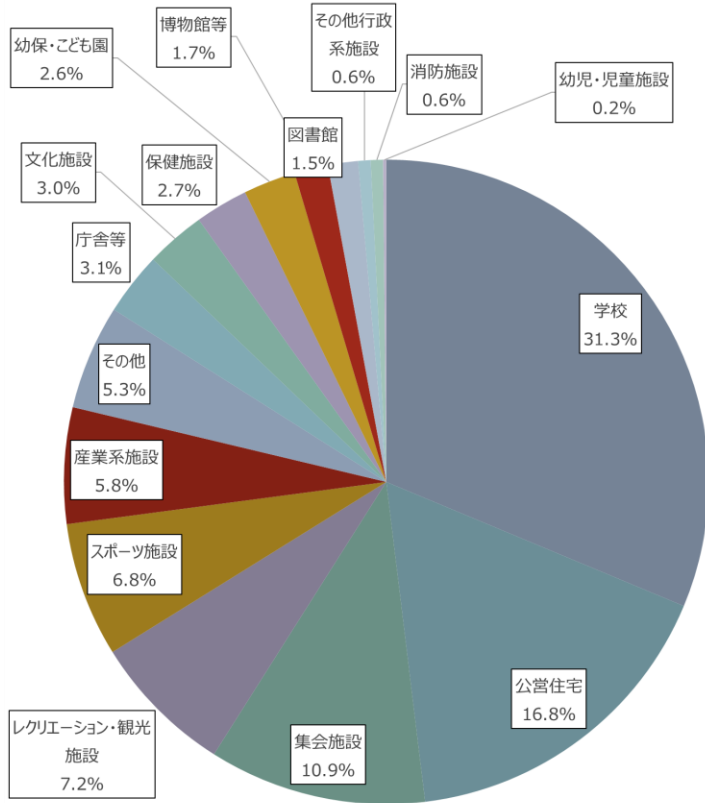


公共施設の状況

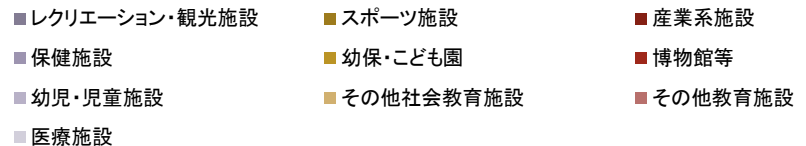
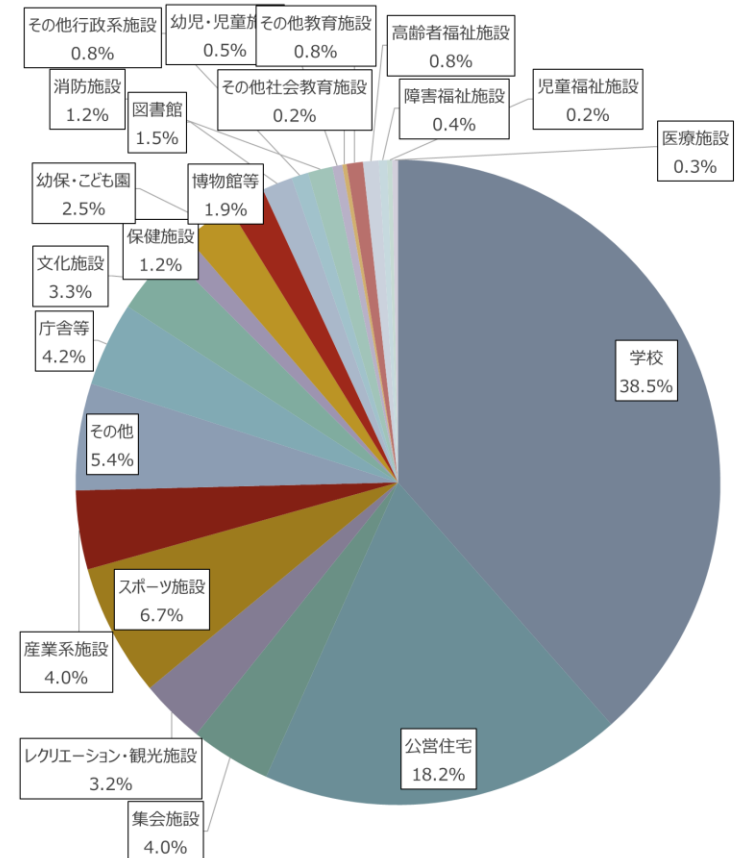
公共施設の保有量（内訳）

- 内訳を見ると、学校がもっとも多く約31%、また、公営住宅が約17%と割合が高い。
- 富山市全体と比較すると、集会施設は5ポイント以上多い。

八尾地域の公共施設内訳（延床面積）



(参考) 富山市の公共施設内訳（延床面積）

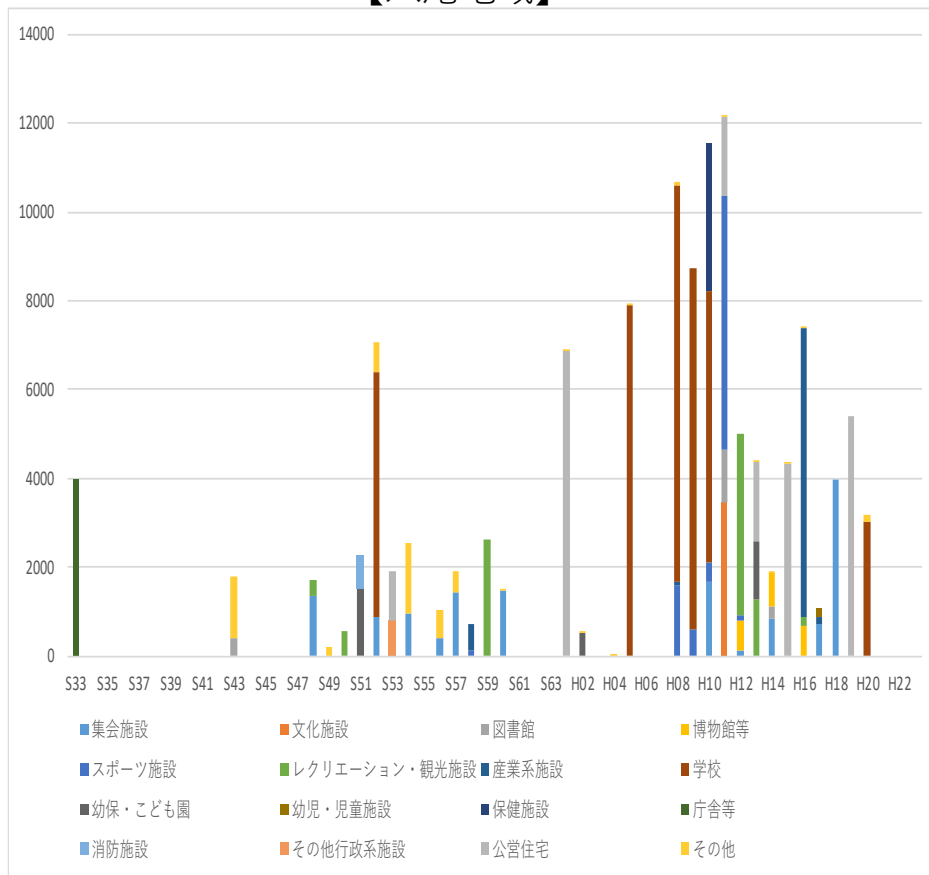


公共施設の状況

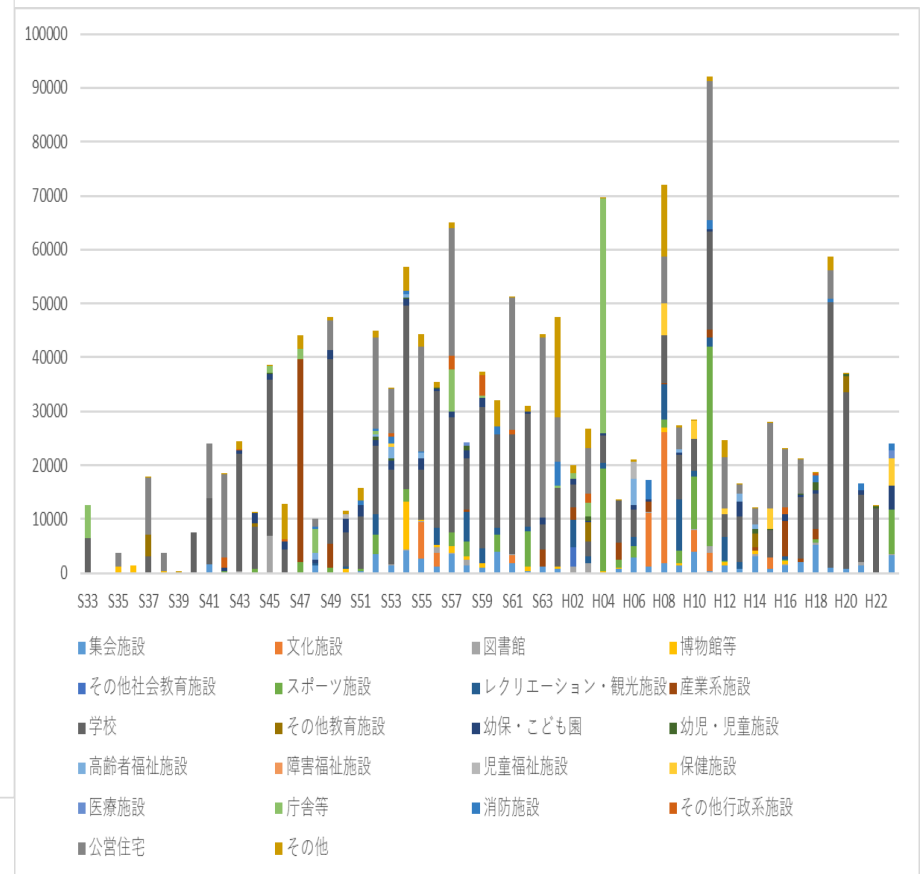
公共施設の整備年

- 公共施設の整備年別延床面積をみると、昭和52年前後と平成10年前後に多く整備されている。学校施設やスポーツ施設などの規模の大きい施設が建設されたタイミングである。
- 八尾地域（左）の公共施設は、富山市全域（右）と比べると、比較的建築年数が新しく、活用が可能な建築物が多いことが分かる。

【八尾地域】

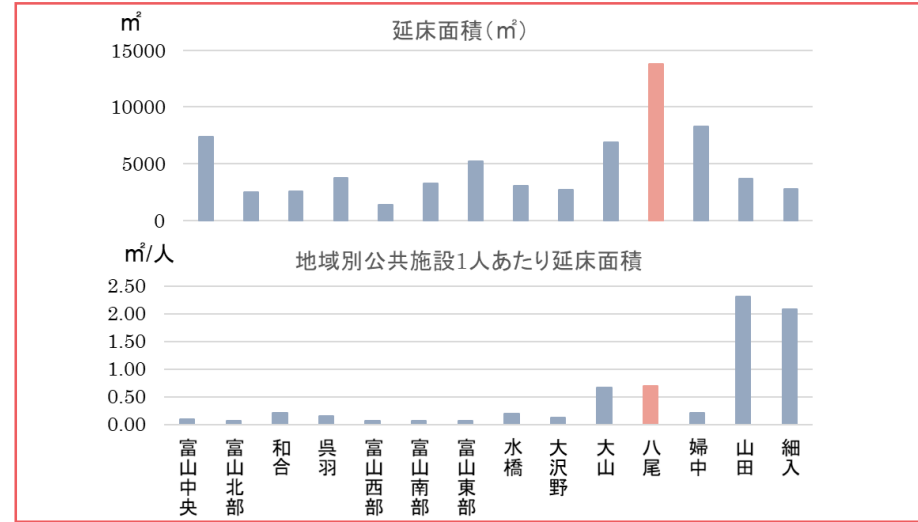
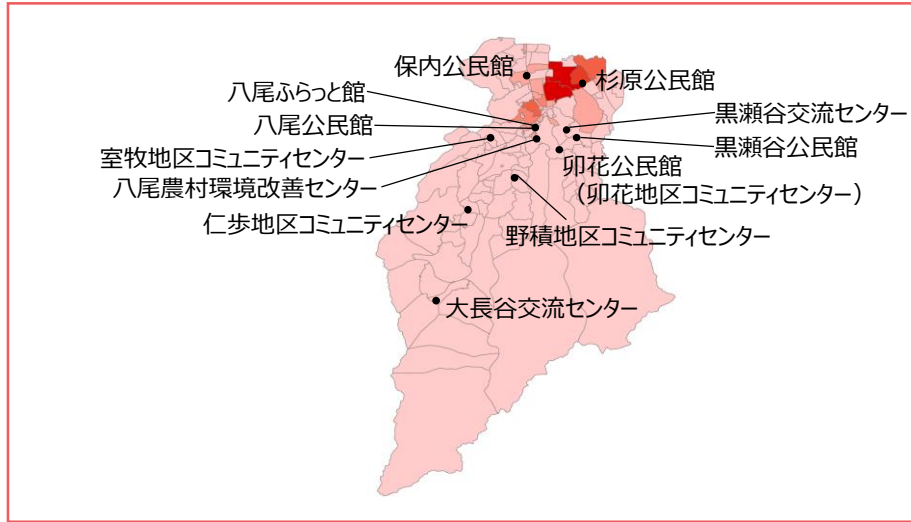


【富山市全域】



公共施設の基本情報

集会施設（公民館、その他集会施設）



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	稼働率 (%)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
公民館	八尾公民館	1,331.87	45	3.44	3,134	●	●
公民館	保内公民館	892.80	41	25.00	11,050	●	●
公民館	杉原公民館	971.09	39	12.22	12,302	●	●
公民館	卯花公民館(卯花地区コミュニティセンター)	1,420.13	36	10.07	5,397	●	●
公民館	室牧地区コミュニティセンター	1,656.05	12	2.96	1,632	●	●
公民館	黒瀬谷公民館	416.97	37	4.01	2,197	●	●
公民館	野積地区コミュニティセンター	2,312.49	12	11.24	7,954	●	●
公民館	仁歩地区コミュニティセンター	703.58	13	2.44	1,483	●	●
公民館	大長谷交流センター	792.21	20	6.27	4,774	●	●
その他集会施設	八尾ふらっと館	815.20	16	10.27	2,615	●	●
その他集会施設	黒瀬谷交流センター	873.00	20	19.59	17,226	●	●
その他集会施設	八尾農村環境改善センター	1,489.58	33	84.98	2,906	●	●
富山市平均		642.30	-	14.70		-	-

公共施設の基本情報

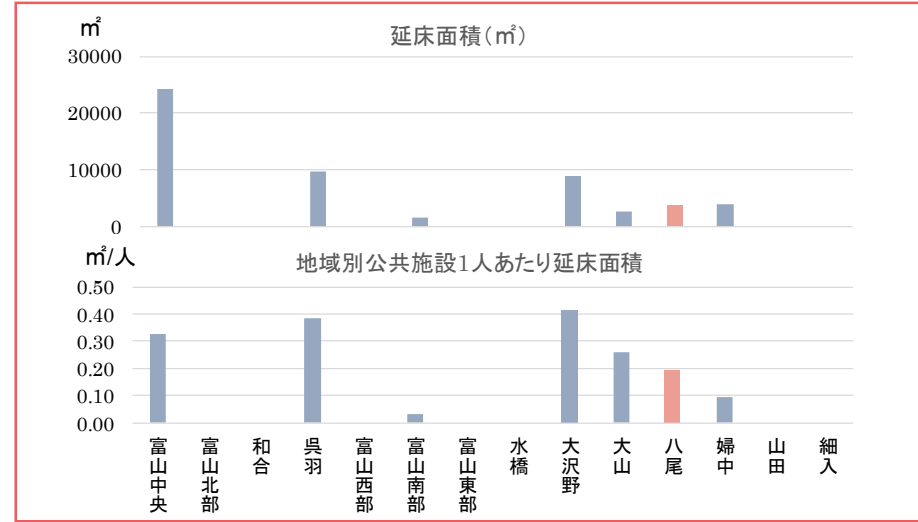
集会施設（公民館、その他集会施設）

考えられる課題

- 耐震性能の強化や機能の改善を含む改修が必要な施設があります。
- 総じて稼働率が低くなっていることから、改善が必要だと考えられます。また、施設の延床面積も他の地域と比較して極めて多いことから、避難場所としての機能を確保しつつ、他の施設との統合及び不要スペースの縮小等を検討する必要があると考えられます。
- 利用促進を図るため、地域の方々に運営していただくことなども検討していく必要があると考えられます。
- 全市的な方針では、将来的に公民館は小学校区に1か所程度の配置とすることとしています。

公共施設の基本情報

文化施設（ホール、その他文化施設）



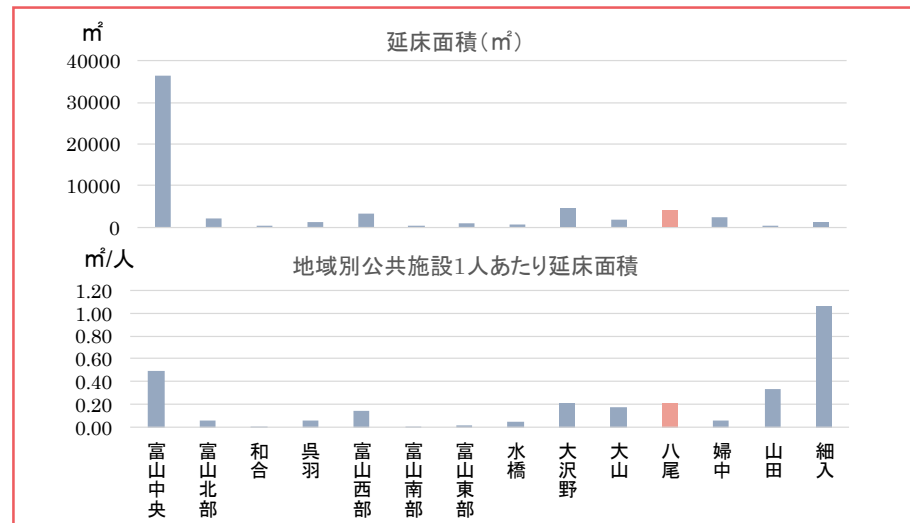
分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	稼働率 (%)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
ホール	八尾コミュニティセンター	3,446.70	19	6.10	30,764	●	●
富山市平均		7,205.56	-	19.00	-	-	-
その他文化施設	八尾コミュニティセンター分館・杉風荘	345.00	136	0.27	30	-	●
富山市平均		3,906.24	-	30.00	-	-	-

考えられる課題

- 施設によってバラつきはありますが、総じて稼働率が低く、有効活用できていないと考えられます。
- 杉風荘は年間を通してほとんど利用実績がなく、公共施設としての活用は難しいと考えられます。
- 施設の利用者数が伸びない場合は、利用率に応じた規模に面積を縮小し、他の用途に活用することや、廃止を検討していく必要があると考えられます。

公共施設の基本情報

図書館、博物館等



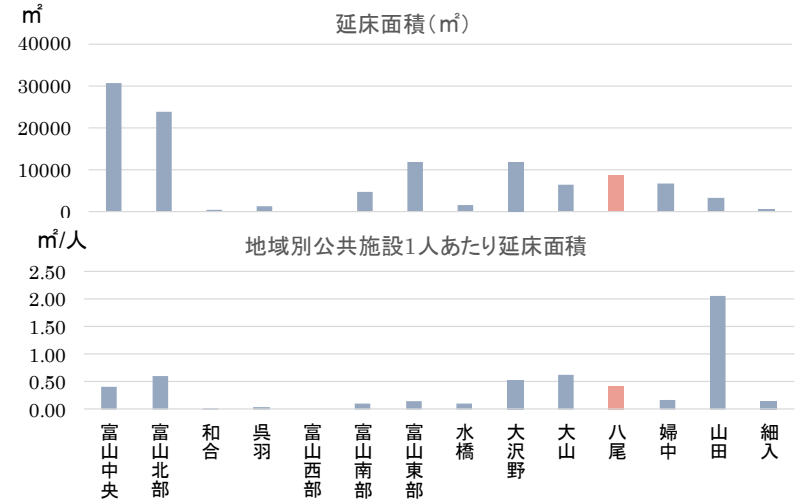
分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
図書館	八尾図書館	1,219.30	19	40,440	●	●
図書館	八尾東町分館	288.00	16	12,560	●	●
富山市平均		980.02	-	57,279	-	-
博物館等	八尾美術保存館	762.23	16	-	-	●
博物館等	富山市八尾おわら資料館	683.00	18	11,488	-	●
博物館等	富山市八尾化石資料館	690.20	14	911	-	●
富山市平均		986.52	-	19,860	-	-

考えられる課題

- 耐震性能の強化や機能の改善を含む改修が必要な施設があります。
- 図書館は主に地域の方々や児童が利用する施設であることから、機能維持が必要であると考えられます。しかし、分館が置かれていない他の地域との公平性の観点から、施設の集約化についても検討が必要であると考えられます。
- 博物館等については、地域外の方々に情報を発信するための施設ですが、利用者数が非常に少ないことから、利用の促進に努めるとともに、他の施設との統合や廃止などを含めた施設のあり方を地域の方々と考えていくことが望まれます。

公共施設の基本情報

スポーツ施設（体育館、プール、その他スポーツ施設）



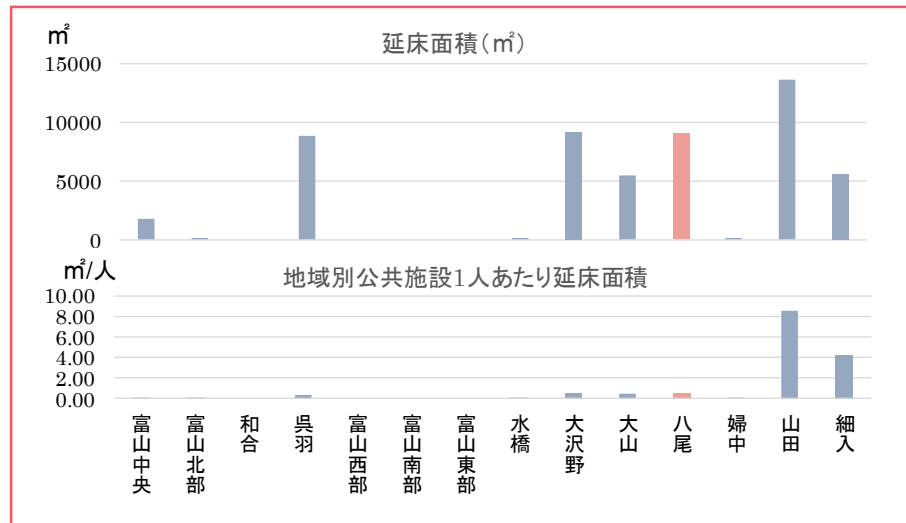
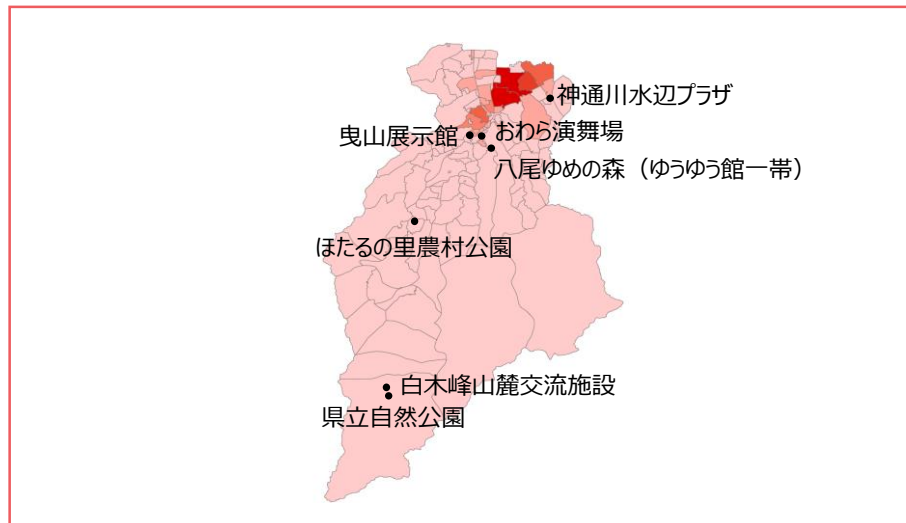
分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
体育館	八尾スポーツアリーナ	5,684.41	19	70,223	●	●
富山市平均		3,931.02	-	-	-	-
プール	八尾B&G海洋センタープール	1,592.66	22	76,553	-	●
富山市平均		1,261.08	-	-	-	-
その他スポーツ施設	スポーツ・カヌーセンター	596.12	21	-	●	●
その他スポーツ施設	八尾ゆめの森テニスコート	435.00	20	10,568	-	●
その他スポーツ施設	八尾パインパーク	109.75	35	9,564	-	●
その他スポーツ施設	八尾サンパーク	121.60	26	1,926	-	●
富山市平均		215.69	-	-	-	-

考えられる課題

- 利用実態を見ると、上記の施設については、その規模に比べて利用者数が少ないのが現状です。利用の促進に努めるとともに、他の施設との統合や廃止などを含めた施設のあり方を地域の方々と考えていくことが望まれます。

公共施設の基本情報

レクリエーション・観光施設



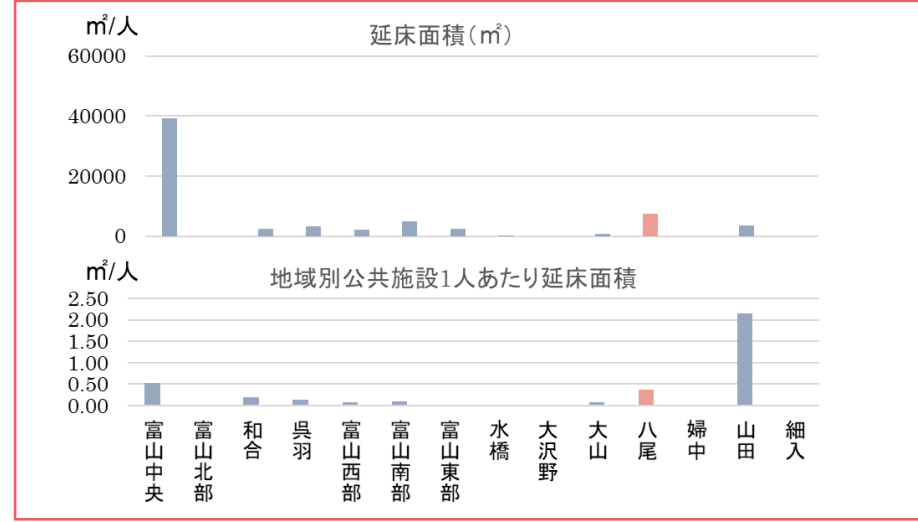
分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
観光施設	おわら演舞場	359.84	45	685	-	●
観光施設	曳山展示館	2,629.04	34	31,091	●	●
観光施設	ほたるの里農村公園	680.96	17	7,051	-	●
観光施設	県立自然公園	548.23	43	1,142	-	●
観光施設	神通川水辺プラザ	591.00	17	21,677	●	●
富山市平均		1,058.78	-	109,395	-	-
宿泊・入浴施設	白木峰山麓交流施設	191.47	14	7,416	-	●
宿泊・入浴施設	八尾ゆめの森(ゆうゆう館一帯)	4,080.66	18	102,795	-	●
富山市平均		3,436.99	-	87,217	-	-

考えられる課題

- 曳山展示館では、一部でおわらの展示等を行っており、おわら資料館との機能重複が見られます。
- 多くの施設が整備されていますが、中には利用者数が極端に少ない施設も存在します。
- 利用者が増える見込みがない施設については、利用率に応じた規模に面積を縮小することや、他の施設との廃止・統合を検討していく必要があると考えられます。

公共施設の基本情報

産業系施設（産業振興施設）



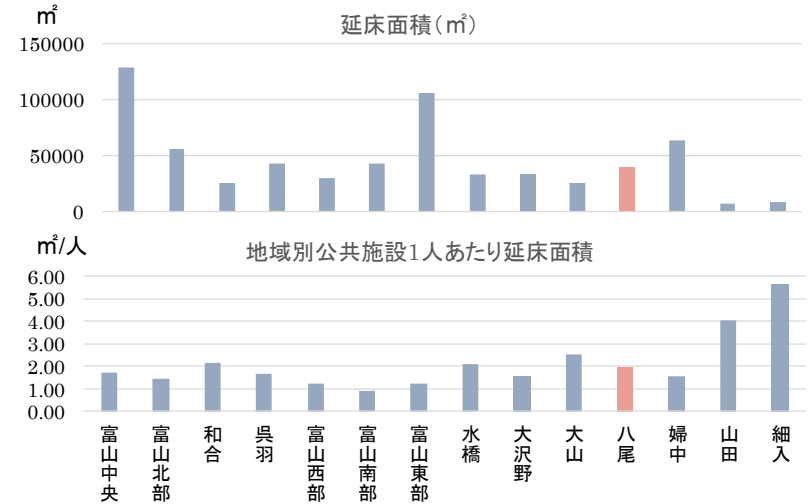
分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
産業振興施設	地域資源利活用施設	6,506.64	14	3,177	-	-
産業振興施設	白木峰山麓体験農園	183.42	13	10	-	●
産業振興施設	林業総合センター	593.50	35	-	●	●
富山市平均		3,292.25	-	-	-	-

考えられる課題

- 林業総合センターは、既に市の施設としては利用されていません。
- 白木峰山麓体験農園は一定の利用はありますが、更なる活用の観点から、地元住民の方が直接運営するといった効率的に運営する方法も考えられます。

公共施設の基本情報

学校（小学校、中学校）



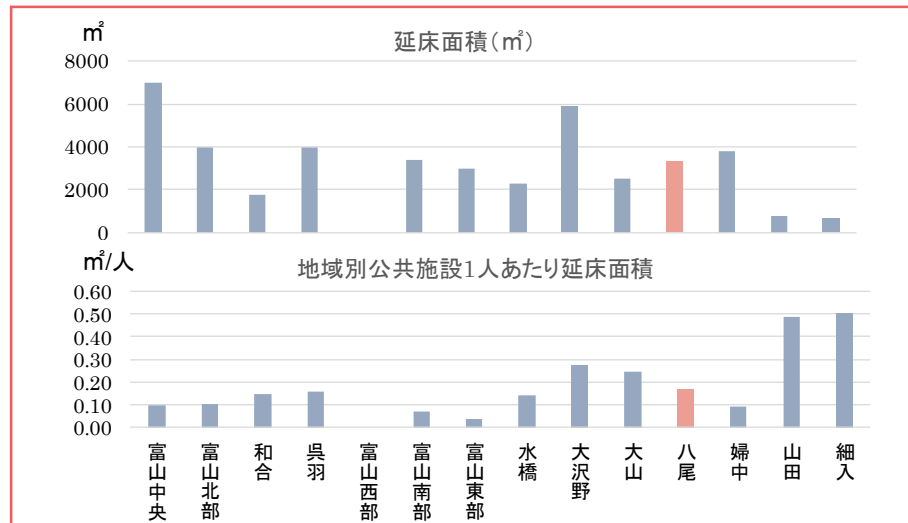
分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	児童・生徒数 (平成30年5月) (人)	避難所	対象
小学校	八尾小学校	7,916.00	25	-	291	●	●
小学校	杉原小学校	8,139.45	21	-	381	●	●
小学校	保内小学校	6,105.13	20	-	166	●	●
小学校	榎尾小学校	3,038.44	10	-	35	-	●
富山市平均		6,465.48	-	-	-	-	-
中学校	八尾中学校	8,937.00	22	-	332	●	-
中学校	杉原中学校	5,486.00	41	-	188	●	-
富山市平均		8,038.40	-	-	-	-	-

考えられる課題

- 子どもと地域の方の安全確保のために、老朽化した校舎・体育館の改修を行う必要があります。
- 将来にわたり児童数・生徒数が少ない学校については、他の学校との統廃合を検討していく必要があります。
- 児童生徒が減少し、慢性的に空き教室が生じている場合は、教育や安全に支障のない範囲で、地域の集会施設などを校舎内に配置することも考えられます（学校施設の複合化）。

公共施設の基本情報

幼保・こども園（保育所）



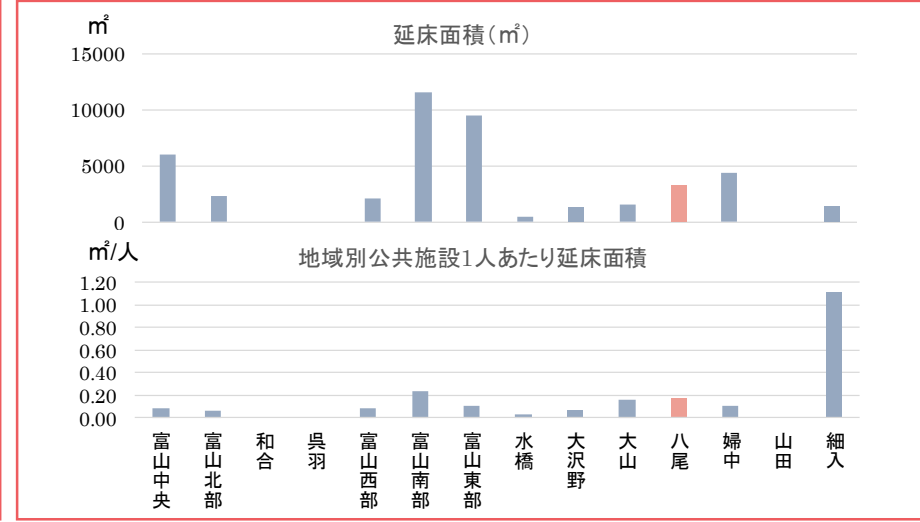
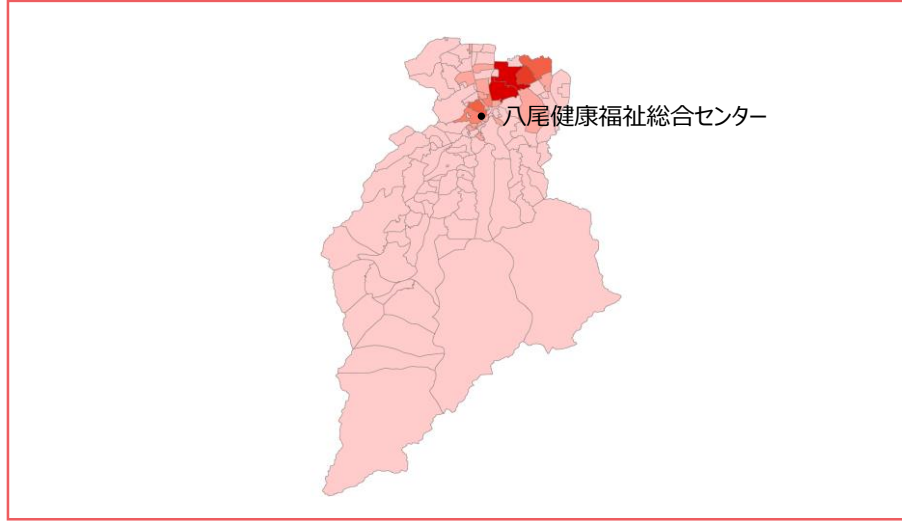
分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	避難所	対象
保育所	八尾保育所	1,322.09	17	-	●
保育所	福島保育所	1,296.00	1	-	●
保育所	黒瀬谷保育所	509.82	28	-	●
富山市平均		749.83	-	-	-

考えられる課題

- 老朽化が進んでいる施設があり、安全性の確保・機能の向上などの改修工事が必要な施設があります。
- 子どもの将来的な人数を想定したうえで、ニーズに対応した施設を着実に確保する必要があると考えられます。しかし、少子化によって既存施設が過大となる場合は、規模の縮小などを検討する必要があると考えられます。
- 市全体では、保育園の民営化を推進しています。

公共施設の基本情報

保健施設



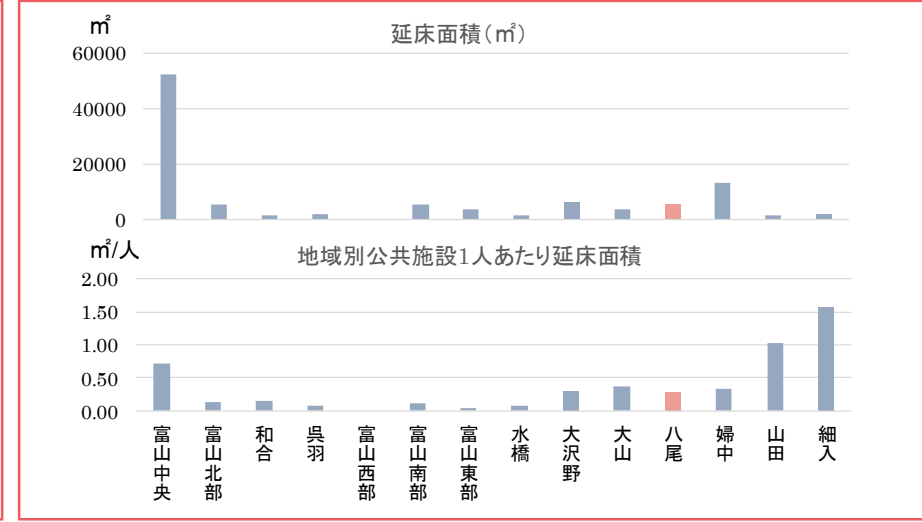
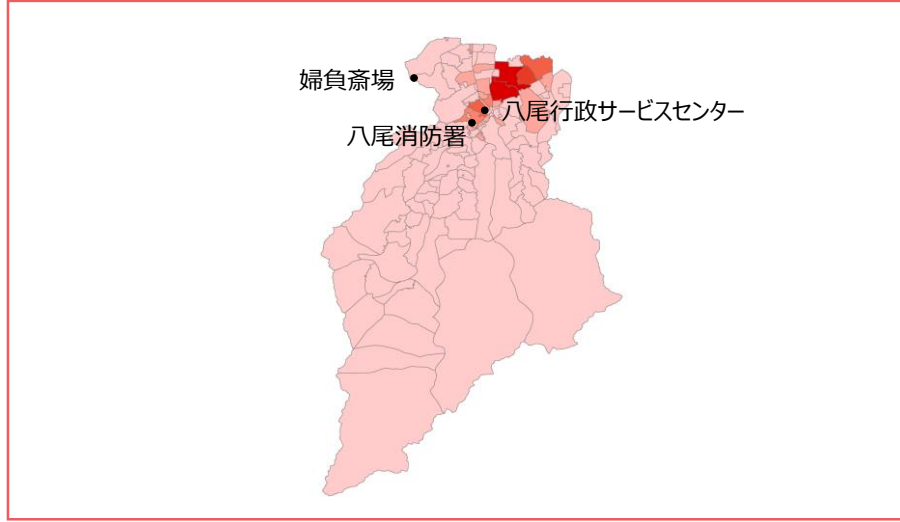
分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
保健施設	八尾健康福祉総合センター	3,364.14	20	27,308	●	●
	富山市平均	2,869.81	-	13,889	-	-

考えられる課題

- 地域の健康福祉拠点として多くの方に利用されており、機能を維持することが求められています。
- 建物内を有効に活用し、他の行政機能との複合化や民間施設の設置などによって活性化を図り、拠点機能のさらなる向上を図ることが考えられます。
- 利用者の利便性向上に向け、運営体制の見直しを検討するとともに、民間のノウハウを活用しながら、サービス水準の向上や、運営の効率化を図る必要があると考えられます。

公共施設の基本情報

庁舎等、消防施設、その他行政系施設



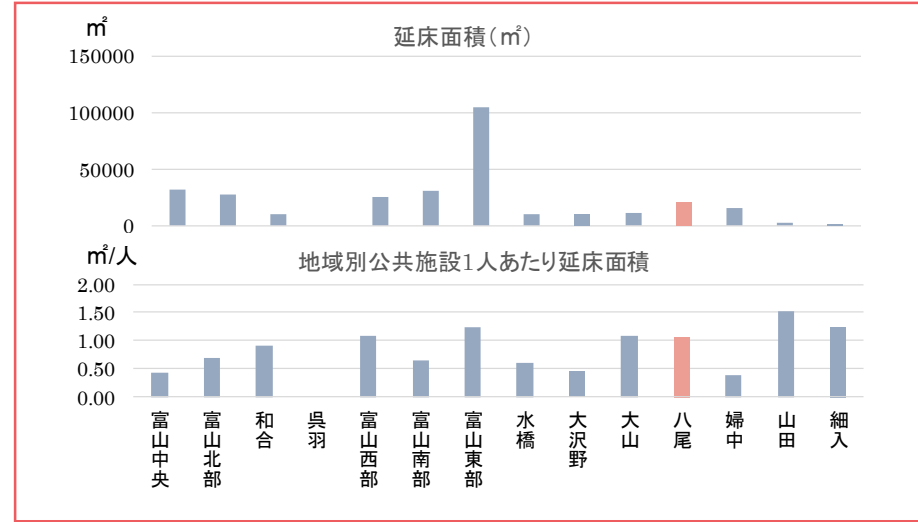
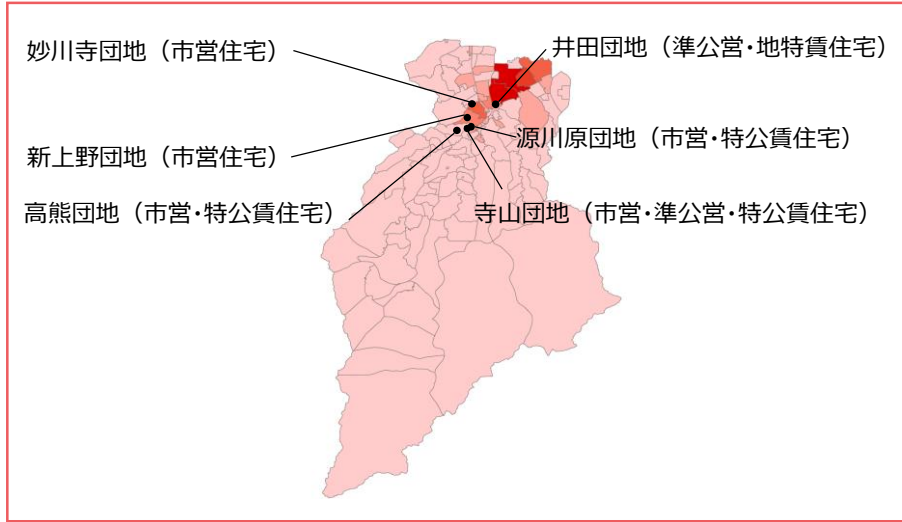
分類	施設名	延床面積 (m ²)	築年数 (平成30年度)	年間利用人数 (人)	避難所	対象
支所	八尾行政サービスセンター	3,985.98	60	-	-	●
	富山市平均	3,443.01	-	-	-	-
消防署	八尾消防署	1,230.59	1	-	-	-
	富山市平均	1,848.59	-	-	-	-
環境関連施設	婦負斎場	795.00	40	-	-	-
	富山市平均	832.73	-	-	-	-

考えられる課題

- 行政サービスセンターの建物は現状では過大となっており、空きスペースが多くある状況です。
- また、老朽化が著しく、耐震性も無いことから、災害発生時には地域の中核施設としての行政機能が失われる可能性が高く、他の施設との複合化などを検討していく必要があります。
- 斎場は、施設のあり方の検討していく必要があります。

公共施設の基本情報

公営住宅（市営住宅）



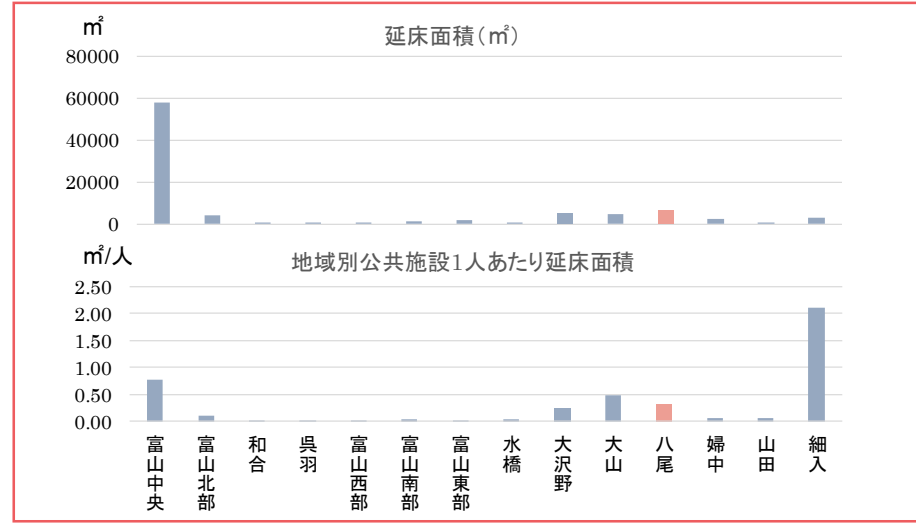
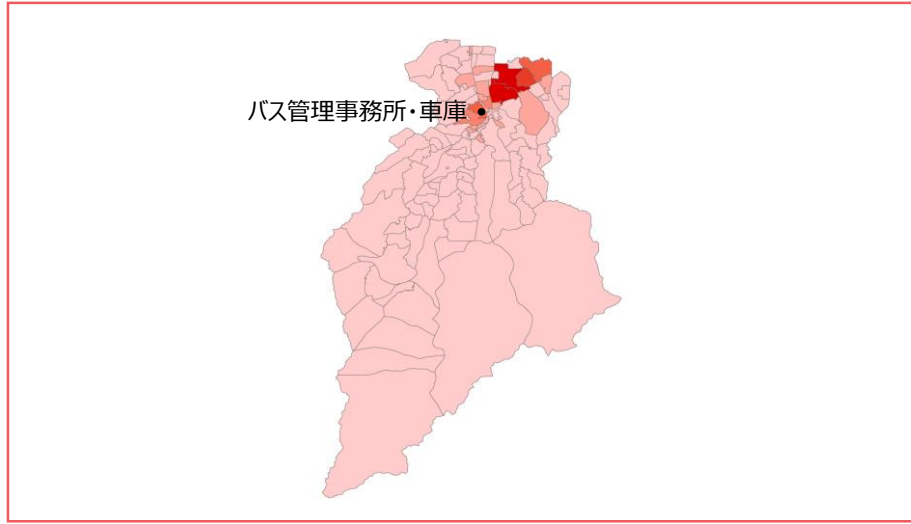
分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	避難所	対象
市営住宅	新上野団地(市営住宅)	5,385.41	11	-	-
市営住宅	井田団地(準公営・地特賃住宅)	1,104.10	40	-	-
市営住宅	妙川寺団地(市営住宅)	6,860.77	29	-	-
市営住宅	源川原団地(市営・特公賃住宅)	4,319.48	15	-	-
市営住宅	高熊団地(市営・特公賃住宅)	1,817.60	19	-	-
市営住宅	寺山団地(市営・準公営・特公賃住宅)	1,765.57	17	-	-
富山市平均		7,986.23	-	-	-

考えられる課題

- 公営住宅については、今回のワークショップでの検討対象外です。

公共施設の基本情報

その他



分類	施設名	延床面積 (㎡)	築年数 (平成30年度)	避難所	対象
その他	バス管理事務所・車庫	801.60	39	-	-

考えられる課題

- バス管理事務所・車庫については、今回のワークショップでの検討対象外です。